

きんぎょ ひかり かげ 金魚の光と影



ここはどこでしょうか？

ここは、アートアクアリウム (art aquarium) という金魚の美術館です。

ここは、普通に金魚を見るところではありません。「光」「影」「音楽」「日本

文化」を感じながら、金魚を見ることができます。照明やプロジェクションマッピング (projection mapping) を

つかって、「光」と「影」を表しています。水の音を流しながら「音楽」を楽しむ

ことができます。そして、日本のガラス、着物、陶器、建築を取り入れて、「日

本文化」も知ることができます。いつもとは違う世界にいるように感じるでし

ょう。





金魚は、200年ごろに中国で生まれました。フナという魚から突然、種類が変わって金魚が生まれたのです。日本へ来たのは、1500年ごろです。当時は、お金持ちの間で人気がありました。1700年ごろになると、普通の人々の間でも、育てられるようになりました。その理由は、侍がお金をかせぐために、金魚を育てて増やし、金魚

の値段が下がったからです。現在でも日本では、多くの家庭で金魚をペットとして育てています。

最初、金魚は突然の変化で生まれました。その後、もっときれいな金魚が見たいと思った人が、新しい色や形の金魚を作りました。オーストラリアのある大学が金魚を川に放して、十数年間観察する研



フナ

究をしました。その結果、魚は川でフナのような色に変わり、体もフナのよりに大きくなったそうです。金魚は、人が育てなければ、祖先、つまり、フナに

もど 戻ってしまうようです。そして、^{きんぎょ}金魚は人が作り出した^{さかな}魚なので、川に放すと、
^{せいたいけい}生態系を壊すかもしれません。

^{あか}赤い金魚、^{しろ}白い金魚、^{くろ}黒い金魚。目が大きい^{きんぎょ}金魚、頭が大きい^{きんぎょ}金魚、お腹が
^{おお}大きい^{きんぎょ}金魚。今も、たくさんのきれいな^{きんぎょ}金魚がありますが、^{しょうらい}将来、見たこともな
いようなもっときれいな^{きんぎょ}金魚が作られるかもしれませんね。



(724^じ字)

(2021.9 Written by Wakiko FUTAKUCHI)

<^{さんこうしりょう}参考資料>

- ・「ART AQUARIUM」ウェブサイト

<https://artaquarium.jp/>

- ・「YAHOO! ニュース」ウェブサイト「^{なつ}夏の^{ふうぶつし}風物詩・^{きんぎょ}金魚は、いつから「ペット」になったのか? ^{いがい}意外と知らない^{れきしひわ}歴史秘話とは」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/eb12a7f401545d46816418b73b8c04c308d63e47?page=1>

- ・「withnews」ウェブサイト「^{きんぎょ}金魚が^{やせい}野生化すると…^{きょだい}巨大化、^{おどろ}驚きの^{はんしょくりよく}繁殖力「^{もっと}最も^{やっかい}厄介な^{せいぶつ}生物の一つ」

<https://withnews.jp/article/f0161228002qq0000000000000000W02310701qq000014481A>

(2021.7.27 ウェブサイト^{かくにん}確認)



この作品はクリエイティブ・コモンズ^{さくひん} 表示^{ひょうじ} - 非営利^{ひえいり} - 継承^{けいしょう} 4.0 国際^{こくさい} ライセンスの下に提供^{ちようきよう}されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典^{しゅつてん}として示^{しめ}してください。

例^{れい} 出典^{しゅつてん}: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.